



奏でる歓び
生きる歓び

1枚の五円玉が心をつなぐ感動のドキュメンタリー

五円玉の縁王

パリから大分へ

入場料 前売り 800円
当日 1,000円

GOENDAMA

2009年9月25日(金)

上映開始時間 (開場は30分前)

①10:30 ~ ②13:30 ~ ③16:30 ~ ④19:00

キャスト:山田泉 / エリック・マリア・クテリエ

監督:江口方康

せんだいメディアテークスタジオシアター
(7階)

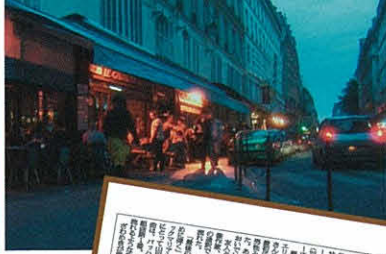
撮影:江口方康 / 音楽:エリック・マリア・クテリエ「バッハ無伴奏チェロ組曲」他 / 編集:渡辺政男 / 録音:ニコラ・ベルテロー / 製作統括:上野智男
特別協力:聖ヨゼフ寮 ゆふみ病院 イルガム ホンビドー・センター シテ・ドラ・ミュージック

製作:Inter Bay Films [GOENDAMA] 製作委員会2008 © Inter Bay Films 配給・上映問合せ:パンドラ

文部科学省選定(少年・青年・成人向き)

限りある命だからこそ生まれた、やさしさに満ちた愛の実話

必然が偶然を呼び、偶然が必然を呼ぶ――



長編ドキュメンタリー「ご縁玉」は、大分で<いのちの授業>を続けてきた山ちゃんこと、山田泉(元養護教諭)とベトナム孤児としてフランス人の養父母に育てられ、今や国際的に活躍するパリのチェリスト、エリック・マリア・クチュリエの交流を描いた作品です。エリック・マリア・クチュリエ(35歳)は、パリ旅行中の乳ガンを患う山ちゃんから渡された五円玉に引き寄せられるように、山ちゃんの住む大分へ旅立つ。山ちゃんはガンを再発してから<いのちの授業>で、命の大切さを子供たちが考える場を作ってきた。1枚の五円玉がもたらした縁が、チェロの音色や大分の自然とともに観ているものの胸を響かせます。



朝日新聞紹介記事より



パリと日本をつなぐ『ご縁玉』

1枚の5円玉がパリと豊後高田を結んだ……そんな不思議な物語ができあがりました。

昨年の5月に乳がんがリンパに転移し、医師から「今のうちに好きなことをしたほうがいい」と告知を受けた私は、頭がクラクラするほどのショックを受け、家に帰り、「これからどうしよう」と泣いていた。

すると、フランスに住んでいる乳がん友達から1本の電話がかかってきた。転移したのなら、早く遊びにおいでよ、というお誘い。早速、大学生の息子と娘とともにフランスに行くことに決めた。アンジェという町の美しさを堪能し、パリへ。そこで京都から来ていた友人に紹介されたのが、彼エリック・マリア・クチュリエだった。クラシック・現代音楽の分野で注目されているアーティストといわれてもよくわからず、おいしいワインを飲みながら、バッハの無伴奏組曲を聴き、幸せ気分を堪能した。日本へ帰る前夜、お別れにエリックから扇子をもらった。お返しに「ではご縁がありますように。この5円玉をどうぞ」と渡した。そして3ヶ月後、彼は5円玉をもって本当に我が家へやってきた。がんの痛みが少しでも和らぐようにとチェロを持参し、セラピーを毎日してくれた。

そんな話が映画になった。パリでも上映され、好評だったようだ。1万キロ離れた5円玉の物語。日本での上映はこれから。よかったら是非見てね。

山田 泉



著書『「いのちの授業」をもう一度』『いのちの恩返し』
高文研より発売中

CAST 山田泉／エリック・マリア・クチュリエ
STAFF 監督・撮影：江口方康／音楽：エリック・マリア・クチュリエ「バッハ無伴奏チェロ組曲」他／編集：渡辺政男／録音：ニコラ・バルテロー／製作統括：上野智男
特別協力：聖ヨゼフ寮 ゆふみ病院 イルカム ボンビドー・センター シテ・ドラ・ミュージック
製作：Inter Bay Films 「GOENDAMA」製作委員会2008 カラー／ステレオ／VIDEO／72分 © inter Bay Films
協力：高文研 配給・宣伝：上映問合せ：パンドラ Tel:03-3555-3987 E-mail:info@pan-dora.co.jp www.pan-dora.co.jp

この作品が多くの方に届けられるよう、諸般に渡る特別なご支援を求めています。是非お力添えの程、お願いいたします。

主催 仙台友の会 TEL/FAX 022-308-5009
<http://homepage2.nifty.com/sendaitomo/>

後援 仙台市教育委員会・河北新報社・朝日新聞仙台総局・TBC 東北放送